

私大も理工科ブーム

まず校舎や施設を充実

私立大学にも理工科ブーム、日本大学はこのほど理工科中心の方針に切り替え湯川秀樹、中村誠太郎両博士指導を受けて原子力研究所を作ることにしたという。中央大学は今年秋ごろから鉄筋一階建ての工学部校舎を建設の予定、大阪の大阪電気通信高校は短期大学併設、その他の私大も学科新設や定員増加を計画しており、国立立大学も増募とともに、理工系の入学志願者にはいよいよ「広き門」となるとみられる。

「原研」もつくる日大 関大は工学部開設

日本大学は新学年から学部名を改め、今までの文学部に地理、数学、物理の各科を加えて文理学部とし、いままでの工学部に物理学科を加えて理工学部とした。同大の学理事長吉田重良氏の語では、物理の主任教授は東大助教中村誠太郎氏を招く一方、原子力研究所を作り、核融合反応実験もやることだ。

中央大学は、いま大学院校舎の新築中だが、引続き後援団体の工学部木造校舎を七階建てへ三坪に改築の計画がある。完成は来年になるが分相授業を一九所にとめるだけで学生定員はあまりふえないと同校小松事務部長の語。

甲南大学も昨年設けた理学部を今年中に理工学部に変更の計画で、物理工学、化学工学のほか、オートメーションと経営との関係を研究する学科を設けたいという。オートメーションによる経営方式の変化は、理工関係の知識が必要といわれる。

このほか東京の芝浦工大が電子工学、金属材料の両学科(各四十人)、夜間短大に機械と電気両科の新設を計画、五階建て二坪の校舎新築予定もある。理科大

大阪電気通信高校は電子工学の単科短期大学を併設、定員八十人、募集中。学舎は鉄筋一階建て二百五十坪(八教室)を新築、超短波送受信機、高周波電波に

関西では、関西大学が機械工学、電気工学、化学工学、金属工学の四学科からなる工学部を四月から開設する。定員三百二十人、建物、設備は当分間に合せだが、十年計画で拡充する。

甲南大学も昨年設けた理学部を今年中に理工学部に変更の計画で、物理工学、化学工学のほか、オートメーションと経営との関係を研究する学科を設けたいという。オートメーションによる経営方式の変化は、理工関係の知識が必要といわれる。

このほか東京の芝浦工大が電子工学、金属材料の両学科(各四十人)、夜間短大に機械と電気両科の新設を計画、五階建て二坪の校舎新築予定もある。理科大

学では近々大学院認可のあり次第に薬学科新設と応用コース増設の計画に入る。電機大学は電

気工学、電子工学の両科(各四十人)の増設が予定されている。東海大学は七七型小型原子炉が到着のち原子力工学科(六十人)を新設の予定。ただしこのブームは厚慶など、二七〇は批判的だ。早大理工学部は講座をふもした上で学生定員も増やすが、工学部校舎の建替を要するんですが、これもまだと河井教務主任の話。ひとつには理工学部というものは採算のとれぬのが常で、ほとんどの大学で「文科系学部から回して」もつてやりくりしているんです。」文部省赤石振興課長という表情である。昨秋文部省の科学振興のカケ

「防諜法」
防諜さへ出来なくせ。
—災害地
(豊中・竹生)